

令和7年度 第5回瀬戸市地域公共交通会議 会議録

開催日時	令和8年3月25日（水） 午前10時から午前11時30分まで				
開催場所	瀬戸市役所 東庁舎1階 104会議室				
出席委員	21名	欠席委員	3名	傍聴者	7名
<p>1 議長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 協議事項 令和7年度瀬戸市地域公共交通会議補正予算 別紙資料1をもとに事務局から説明</p> <p>(質疑応答)</p> <p>(公募市民 竹中委員)</p> <p>昨今の人件費や物価高騰もあり運行経費の増加は仕方ないと考えていますが、なぜ住民バスと名鉄バスだけ補正を行うのですか。また名鉄バスについては、にじの丘学園の方は補正しなくてもよいのですか。</p> <p>(事務局)</p> <p>住民バスについては、今年度からの予算削減により、昨年度運行をしていた10便から7便と便数を減らして運行しておりますが、事業完了が近づき精査した結果、当初の予算では事業を完了することが難しいため補正を行うものです。</p> <p>基幹バスの補正についてですが、こちらは3路線とにじの丘学園路線ともに補正はありましたが、按分が難しいため一括の表記としております。</p> <p>コミュニティバスについては、運行事業者のマルセタクシーと協議を行い、補正の必要はないと聞いています。</p> <p>(公募市民 竹中委員)</p> <p>承知しました。本来であればこちらの協議会で審議をしたものを、瀬戸市議会で議論していただくべきだと思いますが、市議会の中で補正の詳細が出てきていなかったため、このような質問をさせていただきました。</p> <p>(磯部議長)</p> <p>ご意見ありがとうございます。また次回以降の会議の開催時期については、書面で行うべきなのか、対面で行うべきなのか、事務局の方で説明のつくような形で開催していただければと思います。</p> <p>採決 &lt;全会一致で認定&gt;</p> <p>(2) 認定事項 令和8年度瀬戸市地域公共交通会議予算 別紙資料2をもとに事務局から説明</p> <p>(質疑応答)</p>					

(公募市民 竹中委員)

2 歳出の2 事業費において、資料1に記載のある当初予算232,139千円から資料2の令和7年度補正後予算232,211千円を引くと-72千円という数字が出るのですが、これは間違いはないですか。

(磯部議長)

ご意見ありがとうございます。事務局に確認ですが、資料1と資料2の数字が一緒ではないので誤りがあるのではないかとのご意見です。いかがでしょうか。

(事務局)

数字の確認をさせていただきます。必要があれば訂正させていただきます。

(磯部議長)

よろしく申し上げます。その他にご質問等がありますか。

(公募市民 竹中委員)

事業費についてですが、資料1でも事務局から説明のあったように、昨今の物価高騰の影響から運行経費の増額というのは仕方がないと考えています。基幹バスでいうと約2,500万円増額しています。一方でにじの丘学園の運行については約130万円減額をしており、コミュニティバスは約300万円増額をしています。また住民バスについては約100万円増額をしています。金額ではなくてパーセンテージの話をしてもらえると、住民バスの増加割合が非常に高く、これが課題なのかなと思いました。この増加率について事務局からご説明願います。

(磯部議長)

予算の増加率の比較についてです。事務局説明願います。

(事務局)

名鉄バス、コミュニティバスの負担金の増加については、人件費の増加が比率としては大きくなっております。住民バスの増加につきましては、補正予算の際にご説明しました通り、今年度の当初予算では大幅な減便を余儀なくされ、団地内の住民の生活に必要な運行便数を確保出来なかったため増額補正しました。よって来年度の予算は今年度と同じ運行内容を維持するため、今年度補正後の予算と同程度の予算を計上しております。その結果、当初予算と比較をすると増加率は大きいですが、生活に必要な運行便数を確保するための予算と考えております。

(磯部議長)

今年度は昨年度と比較して予算が減ったとのことですが、昨年度はどうだったのですか？

(事務局)

昨年度は348万円の予算で1日に10便運行していました。今年度に瀬戸市からの負担金として、住民バスの負担金は約半分の170万円まで減額となってしまう、財政部局と調整を行い、生活に必要な運行便数として7便を確保するというので、予算の補正を行い、271万9千円といたしました。来年度についても同様の便数を確保する予定です。

(磯部議長)

よくわかりました。ありがとうございます。その他にご質問等がありますか。

(石川副議長)

令和8年度は瀬戸市地域公共交通計画の作成があり、コンサルへの委託費用が発生すると思いますが、国からの計画策定の補助についてはいかがでしょうか。

(事務局)

補助については申請を行っておりますが、まだ認定通知をいただいております。

(石川副議長)

認定があれば補助金としての歳入が増えるということですか？

(事務局)

ご認識の通りです。

(磯部議長)

ありがとうございます。歳出の内訳にあるこの金額も変更の可能性があるということですね。その他にご質問等がありますか。

(公募市民 長江委員)

今お話のあった地域公共交通計画策定業務についてですが、具体的にどのようなことを行うのですか？

(事務局)

令和8年度に瀬戸市地域公共交通網形成計画の改訂が必要となるため、新たに瀬戸市地域公共交通計画を策定するものです。秋に実施した市民アンケート等をもとに瀬戸市の公共交通のあり方と今後の指針を定めます。委託費用の内訳は人件費が多くを占めます。

(磯部議長)

ありがとうございます。計画の策定にあたり、データ整理だったり、作業代などの人件費が多いということですね。その他にご質問等がありますか。

事務局、先ほど竹中委員から質問のあった予算書の数字の整合についてはいかがでしょうか。

(事務局)

現在作業をしております。

(磯部議長)

わかりました。それではひとまず次の報告事項へ移りたいと思います。

### (3) 報告事項 瀬戸市コミュニティバスのバス停別乗降状況

別紙資料3をもとに事務局から説明

(質疑応答)

(公募市民 竹中委員)

報告事項内容と少しそれてしまいますが、28ページのこうはん線で4月から根の鼻町集会所にバス停を設置するというお話がありました。こちらは国土交通省からの補助金が出ていると思いますがその用途内容が決まっているのであれば教えてください。

(事務局)

地域間幹線系統への位置付けですが、令和8年度に申請を行いますのでまだ認定はされていません。

(磯部議長)

まずは実績を作ってからということですね。

(事務局)

はい、その通りです。実績をもとに申請を行います。

(公募市民 竹中委員)

私が危惧しているのが乗り換えのことです。根の鼻町集会で降車してあさぴ一号に乗り換えたいが、あさぴ一号が行ってしまったのかどうか分からない、こういった苦情が出るのではないかと考えており、事務局内で議論されているのかどうか質問をしました。

(磯部議長)

2つの路線について乗り換え時のシステムについてです。事務局何か議論はされていますか。

(事務局)

まず、4月からのダイヤについてですが、瀬戸市がダイヤ改正を行い、尾張旭市はダイヤ変更を行いません。1日の中ですべてではないですが数便で乗り換えが出来るものとなっています。4月からの運行に伴い、両市の乗降状況を観察しながら尾張旭市と調整をしていくこともあると考えています。

(瀬戸自動車運送株式会社 横山委員)

このダイヤの接続についてですが、以前瀬戸市と尾張旭で実施したチョイソコせとあさひの結果から、尾張旭市民がかなり陶生病院に来るということがわかり、チョイソコは実装まで至らなかったものの、こうはん線の乗り継ぎを実現することで、瀬戸市のコミュニティバスをもっと盛り上げていこうと思い、瀬戸市と話し合いを行いました。4月から乗降客数を増やして補助金を獲得できるよう瀬戸市と頑張りたいと思っています。

(磯部議長)

ありがとうございます。4月からは尾張旭市との話し合いも続けてより充実した路線になってほしいです。その他にご質問等がありますか。

(公募市民 竹中委員)

他市のことですが、交通事業者や議長から先ほどお話がありましたが、尾張旭市の方ではこの乗り換えについてどのような議論があったのかとか、どんな情報でもよいのでもしあれば次回の会議にお聞かせいただければと思います。これは私からの要望です。

(磯部議長)

ありがとうございます。事務局ももしそういったことが可能であれば次回お聞かせいただければと思います。その他にご質問等がありますか。

(石川副議長)

上之山線の乗降客数が継続的に増加していると説明がありました。また、鉄道駅での乗降も多いと説明があり、非常に良い傾向だと思うので、事務局でなにか特殊な事情や把握していることが他にあればお聞かせください。

(事務局)

上之山線ですが、令和6年度の途中に増便及びダイヤ改正を行っております。その変更が令和7年度になってより浸透してきているのが一番大きいのではないかと考察をしております。また、鉄道駅のほかにも「新郷地域交流センター」での乗降も増えており、センターの利用や、バス停の周辺にドミーという商業施設の利用が増えたと考えています。

(磯部議長)

ありがとうございます。このようにデータがあると様々な議論が行えますので大切にしていきたいですね。その他にご質問等がありますか。なければこちらは報告事項ですので次の議事に移ります。

(4) 報告事項 市内基幹バスのバス停別乗降状況

別紙資料4をもとに事務局から説明

(質疑応答)

(磯部議長)

説明ありがとうございます。委員の方から質問がないようですので私から質問します。赤津線のにじの丘学園の利用が増えているとのことですが、児童数の今後の推移について予測や想定はされていますか？

(事務局)

教育部署からの情報では、まだ数年は児童数の増加が見込まれるとの聞いておりますので、にじの丘学園の便について教育部署と話し合いをしていかないといけないと考えております。

(瀬戸市小中学校PTA連絡協議会 岩上委員)

にじの丘学園の児童について、土日や夏休みの期間の部活動について何とかしてほしいという意見は年々出てきています。難しいかもしれませんがご一考いただけるとありがたいです。

(磯部議長)

ありがとうございます。長期休暇中のバスの運行についての要望ですね。事務局いかがでしょうか。

(事務局)

ご意見については事務局も認識をしております。実現できるかどうかも含め教育部局と調整をしていきます。

(磯部議長)

ありがとうございます。その他にご質問等がありますか。

この議題も先ほどの議題にしても、乗降者数のデータを整理・作成するということはかなり大変な作業です。毎年このようにデータ整理を行っていただいているおかげで会議の場で議論が行えます。事務局ありがとうございます。これからも引き続きよろしく申し上げます。こちらも報告事項ですので次の議事に移ります。

(5) 報告事項 菱野団地住民バスの4月からの運行内容

別紙資料5をもとに事務局から説明

(質疑応答)

(公募市民 竹中委員)

みつば学園の児童・生徒はにじの丘学園と違いバスを利用する人はいませんか。

(事務局)

通学に利用する児童・生徒はいません。

(磯部議長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。なければこちらも報告事項ですので次の議事に移ります。

次の議事に移る前に先ほどの議題2の資料については確認できましたでしょうか。

(事務局)

現在資料の打ち出しを行っておりますので、先に「3 その他」へ移っていただいでよろしいでしょうか。

(磯部議長)

わかりました。それでは「3 その他」へ移ります。令和8年度の瀬戸市公共交通計画策定に向けて、市民アンケートをとっていただきましたが、その集計を石川副議長にご協力いただきました。配布資料にアンケートの集計結果の報告がありますが、作成いただいた石川副議長からご説明いただけますか。

石川副議長より配布資料をもとにご説明

(磯部議長)

ありがとうございます。まだお時間がありますので議論したい点があればご発言ください。

(公募市民 竹中委員)

石川副議長がこのようにしっかりと分析をしていただけました。自分の主観や思い込みだけでなく、今後の会議においては、この資料を参考に客観性を持って会議に臨めたらなと思います。

(磯部議長)

ありがとうございます。その他にご意見等がありますか。

(公募市民 長江委員)

こちらのアンケートに記載はされていませんが、1月に鳥原老人会から要望がありましてバスの乗り方教室を行いました。品野地域力向上委員会公共交通グループや、都市計画課などにも協力いただき、約10名の方に参加いただきました。年齢的に車は手放さないといけないものの、コミュニティバスの乗り方もわからないような方も参加されていました。参加者から質問もいただき、教室が終わる際には一度コミュニティバスに乗ってみようかなという方もいました。とても良い会だったと思います。品野地域にはほかにも老人会などの会があるので、次年度はそういった会に働きかけを行い、ディスカッションを行うことで、一人でも二人でも利用が増えれば良いなと思っています。

(磯部議長)

ご意見ありがとうございます。そういった会には事務局も可能であれば応援に行くということでよろしいですか。

(事務局)

はい、今長江議員からお話の合った会合にも職員がコミュニティバスの利用方法についてお話をさせていただき、参加者には非常に興味を持って聞いていただけました。またこのような説明会を続けていきたいと考えております。

(磯部議長)

よろしく申し上げます。高齢者の移動支援ということであればわれわれだけでなく社会福祉部局も地域公共交通会議と並行して議論を行っておりますので、そこからのアプローチも検討しても良いかもしれませんね。

それでは、今みなさまのお手元に資料2について修正されたものがお配りされたと思いますので、事務局から再度説明をお願いします。

別紙資料2について事務局から説明

《修正事項》

表中、令和7年度補正予算額を資料1で説明をした補正予算額に修正した

(磯部議長)

ありがとうございました。いま配布いただいた資料を正式な資料として扱い採決に移りたいと思います。

採決 <全会一致で認定>

(磯部議長)

ありがとうございました。その他追加のご意見もないようですので、事務局に進行をお返しいたします。

## ○ 閉会

(事務局)

磯部議長、ありがとうございました。途中資料に誤りがあり大変失礼いたしました。事務局から2点連絡があります。

### 連絡事項1 瀬戸市地域公共交通計画策定業務に関する点

1月、2月に書面で協議いただいた瀬戸市地域公共交通計画策定業務の現在のスケジュールですが、予定では先日委員の皆さまに参加資格を決議いただいた参加業者のプレゼンテーションが明日行われます。来年度の瀬戸市公共交通会議ではこの計画策定について主に委員の皆さまと協議をしていければと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

### 連絡事項2 菱野団地住民バス自家用有償旅客運送への移行について

現在住民バスは道路運送法の許可を要しない形で運行をしております、利用者から運賃はいただいていませんが、令和9年度以降の運行について、住民バスの運行を維持するために自家用有償旅客運送への移行を検討しています。

こちらは菱野団地コミュニティ交通運行協議会と移行するかしないかも含め協議をしている段階ですが、この内容についても瀬戸市地域公共交通会議の場で議論をできればよいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(磯部議長)

ありがとうございます。事務局から連絡事項がありました。委員の皆さま何かご質問等がありますか。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局 山田委員)

住民バスの自家用有償旅客運送化についてですが、有償化することで既存の交通事業者に影響を与えないかどうか、またこの菱野団地という場所を公共交通会議が空白地域として認めてよいかなどを議論したうえで、住民バスの必要性や運行の範囲を改めて議論をしていく必要があると思います。

有償化に伴い運行管理や整備管理など運送事業者が管理されているような安全面の管理についても行っていただく必要な措置や、専任の運行管理者、またドライバーも安全講習を受けてもらうなどより一層いろんなハードルが出てくると思いますので、今後そういった件についても調整していく必要があると思います。

協議に向けて、国への申請や審査基準など関係手続きも含めて、瀬戸市と一緒に進めていけたらと思っています。

(磯部議長)

ありがとうございます。今国交省からご発言がありましたが、空白地域の事例としては近隣では春日井市の石尾台で協議会から公共空白地域と認められて自家用有償旅客運送が運行しているという事例もあります。もともとは過疎地での公共交通を維持するための制度ではありましたが、だんだん制度が緩和されてきて、会議体で公共空白地域と認められれば国交省からの審査の対象となり得るとされてきています。

いろんな方と色々な議論をしていくことになると思いますのでよろしく願いいたします。事務局へ再度進行をお返しします。

(事務局)

みなさまありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和7年度第5回瀬戸市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。次回の令和8年度第1回瀬戸市地域公共交通会議は6月頃の開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。